
日本海事センター調べ

主要コンテナ航路荷動き、日中往航7か月連続減

Edited By LogisticsToday On 2019/11/28

日本海事センターが27日に発表した主要コンテナ航路の荷動き動向（速報）によると、9月の日中航路は、往航（日本から中国）が74万5371TEU（前年比14.2%減）で7か月連続のマイナスとなった一方、復航（中国から日本）は176万3448TEU（5.4%増）で2か月ぶりにプラスに転じた。

その他の主要航路では、北米航路の往航（アジアから米国、10月）が156万1785TEU（10.2%減）で、昨年まで好調だった中国積みが米中貿易摩擦により21.4%減少したことを反映した。復航（米国からアジア、8月）は57万4211TEU（4.9%増）で4か月ぶりにプラスに転じた。

欧州航路は、往航（アジアから欧州、9月）が135万1627TEU（3.4%減）で7か月ぶりに減少したが、累計ベースではプラスを維持。復航（欧州からアジア、9月）は66万4437TEU（8.8%増）で9か月連続のプラスとなった。

アジア域内航路（9月）は、315万7200TEU（2%減）で2か月連続のマイナスだった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/359408>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.